

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX: 0595 (21) 8839

E-Mail: iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-12 「授業改善に向けた校内研修」を実施しました！ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながる授業研究の推進

【講師】 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

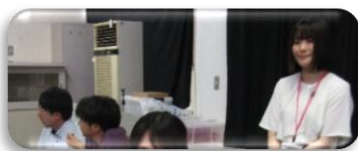
主任 森川 拓真さん 主任 小山 美冴さん

6月24日(火)、研修講座「授業改善に向けた校内研修」兼教研推進委員学習会を実施しました。はじめに森川さんから議論と対話の違いについてお話がありました。森川さんは「対話とは対話者自身それぞれに新しい気づきが得られること」と話されました。対話しながら自分の考えを整理し、対話を通して一つの目標に向かって前進する集団をつくっていくことの大切さを伝えていただきました。

次に小山さんより、授業研究に関わる八つの質問があり、自校の授業研究は、

「主体的に学び合う組織的な授業研究となっているか」

「個々の授業改善につながる授業研究となっているか」「軸があり、継続性がある授業研究となっているか」等についてふり返りました。そして森川さんより、個々の授業改善につながる事後検討会の持ち方について、タブレットを活用しながらご指導いただきました。以下に具体的な進め方を記します。



1. 授業動画を見て(実際は授業)、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業のポイントだと思うことをメモする。
2. 授業のポイントを班で話し合っ、応用可能な言葉にまとめ(概念化)、Google スライドへ入力する。
3. 各班が発表する。
4. 自分の授業改善につながるよう、具体化する(明日からの授業で取り組むことを明記)。
5. 発表: 個々の授業改善のための具体的な取組を共有する(アウトプットする)。

演習の際、どのグループも先生方で言葉をつなぎながら、どんどん授業のポイント(課題設定や子どもの思考を揺さぶる発問等)を概念化し、スライドを増やしていきました。今回の講義や演習から学んだことを取り入れながら、各校・園での授業研究や研修を進めていただければと思います。

アンケートより 【一部抜粋】

- ・幼稚園でも、子どもたちの発見から子どもたちが考えられるような言葉がけを工夫し、学びにつなげられるよう関わっています。今日の学びを様々な場面で活かしていきたいです。【幼】
- ・今回の研修で改めて事後検討会のもち方が大切になってくると感じました。授業を見て「こうした方がいい」と思うだけでなく、自分の授業にどう生かしていくかまでが大切だと思います。概念化ということを実際に体験できたことが、今後の事後検討でのイメージにつながりました。【小】
- ・各校の取り組みを交流することができ、自校の研修につなげられるヒントをたくさん学ぶことができました。今回の研修で学んだ「概念化」という考え方をこれからの研修に活用していきたいです。校内研修の中で、同じ方向で学んでいけるように、明日からもがんばりたいと思います。【中】